

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防車両管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	02	02	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、消防団	意図	出動態勢を万全とすることで、市民が安心して暮らせる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両の定期点検 消防団車両の不良箇所の整備及び修繕 			
事業開始から現在までの状況変化	消防団活動には車両が不可欠であり、適切な車両の維持管理が要求される。なお、近年は更新する消防車両の小型化を図るなど実用性が高められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	消防団車両定期点検回数	28	30	34	回	→→
②	消防団車両修繕回数	30	35	25	回	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
車検の期限切れがないよう、適時消防団に呼び掛けている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,459,577	3,617,392	3,814,974
事業費(b)(円)	2,086,577	2,274,992	2,496,574
うち一般財源	2,086,577	2,274,992	2,496,574
職員給与費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	不良箇所の早期発見に努める。	③取組における課題(Check)	法定点検を適切な時期に実施する。
②H30に実施した取組(Do)	日常点検の実施。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	整備計画に基づく適正な管理の実施